

もくじ

- P1 各ネットの活動紹介
- P2 スクールソーシャルワーカー
- P3 参院選特集 - その1
- P4 びっくり県政だより／入江晶子
TPP学習会報告

市民ネットワーク・のだ
昨年6月から開催している「オレンジカフェ一番街」。認知症の方や介護をされているご家族、地域の方など誰でも参加できる場です。おしゃべりや歌を楽しんでいます。(写真)

市民ネットワーク・かしわ
2011年10月より柏市内の公園などの空間放射能測定を毎月おこなっています。測定結果により見えてくるものがあり、結果をHP、通

さくら・市民ネットワーク
政治団体という敷居を低くしようと、誰でも気軽に使えるギャラリーを開いています。手作り雑貨、袋物、写真、盆栽など、展示は多種多彩。今では通りがかりに窓を覗き込む人も増え、ついでに、「アベ政治を許さない」など、窓に貼られた各種ホスターが目に飛び込む仕組みになっています。(写真)

よつかいどう市民ネットワーク
四街道市には、民間バスが通っていない地区の住民の足となっているバス「ヨッピィ」があります。このバスを利用して方々の状況を知るために、聞き取り調査を行いました。(写真)

市民ネットワークわかば
毎年恒例、若葉区の良さを見つける「わかば面白ツアーアイ」は15回目。昨年10月の「将军気分で歩く御成街道」は講師のレクチャーと訪問先の暖かなおもてなしが大好評。地元の歴史に大いに興味が湧きました。(写真)

市民ネットワーク中央

放射性廃棄物処分場の候補地に

あけまして
おめでとうございます

市民ネットワーク・ふなばし
『読み終えた本を寄付してください
お好きな本をお持ち帰りください』

市民ネットワークみはま
「ふろしき王子」による講習会で、環境にやさしく災害時にも役立つ力パンの作り方を学びました。(写真)

いちはら市民ネットワーク
毎月第4金曜日「おしゃべり介護喫茶」を開催。介護中のだけでなく、経験者や専門家も交えて交流を図っています。店主は自宅介護歴16年の看護師さん。同じ立場の人と気軽に相談でき、悩みや体験を共有することで心も軽くなります。

きさらぎ市民ネットワーク
「ハート村」を事務所で開催。着物のリメイク服や皮製品、木彫り、和小物などを販売しています。人とのつながりもでき、布ぞうりを作ろう会などの企画が生まれました。

2016年今年も元気に活動 地域からの政策提案を目指して



知つてほしい!

スクールソーシャルワーカーの仕事と必要性

野田市議会議員
小室 美枝子

6人に1人が貧困と言われる今、子どもたちはたくさんの課題を抱えています。いじめ防止対策推進法ができるといじめ問題は減少しておらず、むしろ経済的格差や不登校は増加しています。また日本では、教育機関への公的支出の割合が低いことも、これらの問題を増幅させています。

スクールソーシャルワーカー（SSW）って、どんな仕事をするの？

学校には、支援を必要とする児童生徒がいます。SSWは子どもの最善の利益を目標として、教育と福祉の架け橋になります。社会福祉の専門知識と技術を活用して、問題を抱えた児童生徒を取り巻くあらゆる環境に働きかけます。学校や家庭はもちろん、地域の関係機関などと連携して、児童生徒の悩みや問題の解決に向けて直接支援していく専門家がSSWです。

学校内の関係者
担任の先生・養護教諭・スクールカウンセラーなど
学校外の関係機関
児童相談所、民生児童委員、ハローワーク、母子支援員など



おとな視点の「困った子」ではなく、困っている子のSOSに気づくことから支援が始まる

- ・時間がないため学力が低い
- ・相談する人がいなくて子どもが孤立している
- ・家庭の学習環境が悪く、勉強する如がある
- ・問題があるなど立している
- ・いじめや差別を受けるなど学校に取り組んでいます。

SSWはこんな課題に取り組んでいます

童生徒の相談に対応し、心理的側面からアプローチします。
SSWは、学校内での活動はもちろん、学校の外に出かけ、児童生徒を取り巻く環境に働きかけて、問題を解決するために活動します。

■子どもへの直接的支援

- ・親からの虐待で、不適応行動を起こしていた小学生
- ・性的虐待を受けていた小学生
- ・友人とのトラブルから不登校になつた中学生
- ・喫煙、暴走行為をしている小学生

【拠点校から派遣】という仕組み

拠点校から区域の学校に派遣される千葉県の仕組みは、全国でも珍しい形態です。

他の自治体のように教育事務所やセンターから派遣されるのであれば、担当区域全体を見渡し、支援が必要な学校をその都度客観的に判断することができます。この場合SSWは派遣先の学校に所属していないので、校長の意向に縛られることなく、社会福祉士などの専門性を發揮できます。

近隣自治体の配置状況

都道府県	SSWの人数	公立小学校数	公立中学校数
埼玉県	56	814	419
東京都	109	1,292	621
神奈川県	14	855	411
千葉県	5	810	381
横浜市	12	342	179
川崎市	7	113	58
相模原市	3	72	40
千葉市	4	113	60

※文部科学省統計 (2015年8月)

- ・過度な要求をしてくる保護者に苦慮している学校への支援

そもそも、拠点校以外の教員にはSSWの活動がほとんど知られていない、その結果、他校からの派遣要請はありません、さうにはその存在すら知りません。

千葉県の現状は？

千葉県のSSWは、県内5つの区域（東葛飾、葛南、南房総、北総、東上総）の拠点校にひとりづつ配置されています。

千葉県に
もつとSSWを増やそう

なければ、専門性も十分に活かされません。

そもそも、拠点校以外の教員にはSSWの活動がほとんど知られていない、その結果、他校からの派遣要請はない、さうにはその存在すら知りません。

「子どもの最善の利益」を実現するために導入されたSSWですが、SSWの力量を高めるための研修も現在は行われていません。4月以降、SSWを10人増員する計画ですが、理解者が増えないとSSW本来の活動ができないのか疑問です。

市民ネットワークでは、中学校区に一人配置するくらい、SSWが必要だと考えています。これからも行政や学校にその役割や必要性を訴え、県や市の予算での配置を求めていきます。

スクールソーシャルワーカー学習会
「本当の子ども支援とは」
白梅学園大学講師 牧野晶哲さん



SSWに出会った方々は…

●支援を受けている保護者の声

- ・自分が学校に言えないことを話せた。SSWと話した後、学校に自分の気持ちが伝わった。
- ・どうしていいのかわからなかったことを、よく話を聞いてくれた。その上で、専門的知見や経験からアドバイスをもらった。
- ・いつも学校にいてほしい。

●連携を経験した教職員の声

- ・私たちにできない家庭支援をよくやってくれている。これからの教育は保護者への支援も重要になる。
- ・学校だけでは支援しきれない。
- ・安心して相談できる人だと思う。
- ・一般的の教員にはまだ浸透していない。どんな役割の人かもっと広報が必要。

脱原発社会、安保関連法廃止

を実現するために この3人を推薦します ～選挙で国を変えよう～

参院選特集その1

沖縄では県民の圧倒的多数の声を無視し、辺野古新基地の建設を強行

地方に目を転ずれば



安倍政権はパリの同時多発テロに便乗して、一日は廃案になつた「共謀罪」を復活させようとしています。テロ対策の名の下に、憲法を改正し日本版NSC（国家安全保障会議）で首相が緊急事態宣言を発令すれば、国民の私権も思うがまま制限でき、戦前の「戒厳令」と同じ仕組みとなってしまいます。

安倍政権はパリの同時多発テロに便乗して、一日は廃案になつた「共謀罪」を復活させようとしています。テロ対策の名の下に、憲法を改正し日本版NSC（国家安全保障会議）で首相が緊急事態宣言を発令すれば、国民の私権も思うがまま制限でき、戦前の「戒厳令」と同じ仕組みとなってしまいます。

昨年9月の安保関連法案の強権的な一括採決に対し、多くの若者、ママの会、弁護士や憲法学者などの有識者も、官邸前や全国各地で抗議の声を上げ続けています。ネットの代理人をはじめとする超党派の議員による「自治体議員立憲ネットワーク」の活動も継続しています。また、安保関連法は、中身も成立過程も憲法とは全く相いれない違法の産物であると、違憲訴訟の動きも活発になってきています。

私たちには、弱者の声が届く市民自治の実現を目指し地域で活動していました。しかしこうした地道な活動をあざ笑うかのように、安倍政権は我が国を戦争のできる国へ変えようとしています。今私たちにできることは選挙で国の形を変えること、今年の夏は参議院選挙です。安倍政権の暴走を止めるために、市民ネットワークは三人の候補者を推薦します。

共謀罪も復活か？

福島では、自主避難者は我儘で利己的な人々と喧伝し、放射能汚染はなかつたことのよう、住民の帰還作戦を急ピッチで押し進めています。その上、原発を再稼動し、輸出まで！原発を再びエネルギー政策の中に据えようとしています。

このようない国民一人一人の意思や人権を認めようとしない安倍政権が、参議院選挙で再び大勝したらどうなるでしょう。もはや安倍首相に歯止めをかける力は存在せず、強大なファシスト政権の誕生となる可能性すら出てきました。

しようとします。

「反安倍」で結集しよう！

全国比例区



福島みずほ

社民党 参議院議員

1955年 宮崎県延岡市生まれ 東京大学法学部卒業
2003~2013年 社民党党首
2010年 全国比例区で3期目の当選

好きな言葉：明日の天気は変えられないが、明日の政治は変えられる

超党派で成立させたDV防止法や児童虐待防止法、さらに労働者派遣法の改正に積極的に取り組んでいる。選択的夫婦別姓の導入や婚外子差別撤廃を盛り込んだ民法改正法案の実現、非正規雇用労働者の問題には、弁護士の経験を活かして、鋭く切り込む国会質問を続けている。「原発事故子ども・被災者支援法」についても、被災者に寄り添い、実効性ある政府の取り組みを求め続けている。非核三原則の堅持と武器輸出三原則の法制化、辺野古への新基地建設阻止など、平和活動にも情熱をそそぐ。

全国比例区



大河原まさこ

民主党 前参議院議員

1953年 愛知県名古屋市生まれ 国際基督教大学教養学部卒業
1993年 東京・生活者ネットワーク都議会議員に初当選 以後3期10年都議をつとめる
2007年 参議院選挙東京都選挙区で初当選

好きな言葉：地球規模で考え、地域から行動する！

生活クラブ生協での活動が政治活動の原点で、東京都に食品安全条例の制定運動の一翼をなった。東京の水問題にも深く関わり、ハッカダム建設中止を都議時代から貫いて主張。子育てや介護など、暮らしの中から政治を考える姿勢を貫いている。国会議員となつても市民目線の政治に搖らぎはなく、今回の目標は国会に「市民の議席」を確保すること。原発再稼動や憲法違反の安保法制など、安倍政権は国民の思いと真逆に進んでいることに対して、声を挙げ続けている。

千葉県選挙区



小西ひろゆき

民主党 参議院議員

1972年 徳島県徳島市生まれ 東京大学教養学部卒業
2004年 コロンビア大学国際・公共政策大学院修了
2010年 千葉県選挙区で初当選

好きな言葉：ハングリーであり、バカであれ

2015年、市民ネットは小西さんを講師に2回の学習会を開催した。6月の学習会「戦争法案を許さない！」では、解釈改憲による集団的自衛権行使という論理の矛盾について、豊富な資料を示しながら熱弁をふるった。安保法制の国会成立後、10月の学習会「これからが始まりだ！～戦争法案強行採決に屈せず」では、参議院特別委員会での暴力的で不当な採決を、身体をはって阻止しようとした様子を自らの言葉で語ってもらつた。医療基本法や脳卒中対策基本法など、医療分野でも緻密な調査と資料に基づいた提案を続けている。

四街道市議会議員選挙 告示 2/21 投開票 2/28
よつかいどう市民ネットワーク 立候補予定者

大越とみ子 新人 **大谷順子** 3期目

市民ネットワーク千葉県
第23回 定期総会＆新年交流会
日時 1月31日(日) 13:30～
会場 ホテルグリーンタワー幕張
総会は各地域ネット選出の代議員が出席して行いますが、会員はオブザーバーとして参加できます。また総会終了後の交流会(17:30～)は、どなたでも参加できます。



山本友子 (市原市選出)
入江晶子 (佐倉市選出)



「暮らし満足度日本一」のスローガンを掲げながら、言うことどやることがアベコベの森田県政。医療、福祉、教育など県民生活に直結する予算配分は全国最低レベルで、1兆7千億円もの県予算の使い方があまりにもひどすぎます。9月議会代表質問で医療や教育現場の切実な声を取りあげました。

医療現場からのSOS!

県内に6つある県立病院の多くは老朽化が進み、建替えが必要な状況です。中でも佐原病院の病棟は耐震改修しなければなりませんが、事実上放置されたままで。また、市原にある循環器病センターも圧倒的にスペース不足。更衣室は廊下を改造して確保、当直室は窓のない倉庫に2段ベッド、看護実習生の研修棟は

ボロボロのプレハブ…といった劣悪な環境です。ところが、知事はこうした医療現場の悲鳴に耳をふさぎ、改善に消極的です。赤字要因を増やすたくないとの本音が透けて見えます。

学校もボロボロ…

一方、県立学校でも同様に老朽化問題が起こっています。9月に佐倉市の県立高校4校を見学し、現場の声をキャッチ。もっとも歴史の古い佐倉高校では、教室の雨漏りがひどく、倒壊の危険性がある図書館棟も立ち入り禁止の状態。3万冊ある蔵書の7割以上が段ボールに保管されました。

県内の173ある学校からも、施設の補修・改修の要望が昨年度2676件も出されているものの、9月議会の補正予算では、「千葉のさつまいも輸出促進プロジェクト事業」に5500万円。知事がトッピセールスに出かけたマレーシアで好評だった焼き芋の試食販売を現地で行うこと。また、議員のブルジル親善視察2000万円も論外で。これからも、税金は県民生活を良くするために使うべきと声を大に

して発言していきます。
千葉県議会議員 入江晶子

対応したのはわずか403件。そのための予算は毎年6～7億円程度で、緊急性のあるものについても対応が遅れています。子どもたちが安心して学べるよう、環境整備を強く求めました。

焼き芋文化を輸出？



学習会 「暮らしが変わる!? TPPの真実」

11月20日 千葉市生涯学習センター

講師は、大河原まさこさん（前参議院議員）と首藤信彦さん（TPP阻止国民会議事務局長）。TPPの経緯と「大筋合意」、暮らしへの影響などについて聞きました。「TPPは危ない部分が見えづらいが、実際の影響は計り知れない。アメリカがいいところをつまみ食いした結果、日本の制度が崩壊する危険性もある。国民が監視機能を發揮し、息長く見張り続けることが必要」と首藤さん。大河原さんは「肉牛の肥育に使う成長ホルモン剤の規制が、アメリカの牛肉を買うため緩和されたという現実がある。ホルモン剤は確実に肉に残留している」と、アメリカの都合で日本が変わってしまった実例を語り、「業界団体と繋がる議員の圧力で、規制する制度が成立させづらい日本の現状を変えたい」との言葉からは、国政へ再挑戦する強い意思を感じました。

●市民れんらく帳●

●「おじどりマコ&ケンぶっちゃけトークショー」

日 時：2月11日(祝・木) 15:45～17:15

会 場：きぼーる13階会議室 参加費：500円

主催/申込先：市民ネットワークちば

●学習会「マイナンバー制度はどう向き合うか（仮）」

日 時：2月14日(日) 13:00～ 会 場：野田市南部梅郷公民館

講 師：白石孝さん（共通番号いらないネット代表世話人）

主催/連絡先：のだネット・かしわネット・ふなばしネット

●「女性と貧困～自己責任とは言わせない」

日 時：2月21日(日) 会 場：船橋勤労市民センター

講 師：伊田広行さん（立命館大学非常勤講師）

資料代：500円 連絡先：FAX 047-402-6579

主 催：DV防止サポートネットちば

ご案内	地域ネット総会	
市民ネットワーク・のだ	2月14日 (日)	04-7123-6981
市民ネットワークかしわ	2月 6日 (土)	04-7166-6648
市民ネットワーク・ふなばし	2月11日 (木・祝)	047-426-8321
さくら・市民ネットワーク	2月 7日 (日)	043-462-0618
市民ネットワークちば	2月11日 (木・祝)	043-201-2551
いちはら市民ネットワーク	2月21日 (日)	0436-21-1907
きさらづ市民ネットワーク	2月 5日 (金)	0438-36-0677

詳細は各ネットにお問い合わせ下さい。

市民ネットワーク千葉県元気ファンド

2015年助成団体決定

市民ネットワーク千葉県では、市民活動を支援するため、議員報酬の一部を「元気ファンド」として助成しています。2004年から2015年まで58団体に2,230万円の助成をしました。元気ファンドの助成により「活動が広がった」という声を聞くと、この事業の重要性を感じます。助成した団体だけでなく、応募された団体と交流を持ち、千葉県の市民活動が元気になる活動を創っていきたいと思っています。

元気ファンド助成団体（総額875,000円）

11団体の申請があり、書類選考を経て、11月19日に行われた公開プレゼンで、3団体の助成が決定しました。

特定非営利活動法人 つどい（いすみ市）	障がい者のための パソコン教室	275,000円
NPO法人 こどもユニット WAKABA（千葉市若葉区）	子育て広場 はっぱのおうちwithおそと	300,000円
NPO法人ワーカーズコレク ティブ風車（佐倉市）	地域で当事者研究	300,000円